

竹原市立竹原西小学校

①授業の質の向上

〈取組〉

つまづきの分析

- ・教科担任を中心とした単元縦割りによる児童のつまづきの分析

課題の明確化

- ・児童個人の課題と授業内容の課題

基礎・基本の定着

- ・木曜日の朝、紙とデジタルのドリルを使って復習を行う。
- ・毎週火、木曜日の放課後に学力補充を行う。

指導法の工夫

- ・習熟度別授業
- ・学年を見通した発問・教材研究
- ・ファシリテート
- ・カリキュラム・マネジメント



〈成果と課題〉

- 「教科担任制により授業が分かりやすくなった」と回答した児童 85% (6年生)
- 令和5年度全国学力・学習状況調査 算数65% (広島県64% 全国62.5%)
- 教科担任制により個別指導が充実したが、依然として学力の個人差が大きい。

②多面的な児童理解

〈取組〉

○ 教科担任と学級担任の連携

- ・毎月第4金曜日に教職員全員で気になる児童の情報共有を行う。
- ・授業の中で気が付いた児童の小さな変化について、日常的に情報の共有が行われるようにする。



○ SSRを中心とした児童理解

- ・児童へのアセスメントの実施や、個別レポート計画を作成する。
- ・毎週火曜日の不登校等児童支援会議で話題に上ったことや、児童の日々の状況や変化などを報告し、全教職員で情報を共有する。



〈成果と課題〉

- 「複数の教員で授業を行うことにより児童理解が深まり、適切な指導や支援につながる」と回答した教職員 100%
- 令和5年10月末現在 生徒指導上の諸課題 暴力行為0件
- 「教科担任制になって相談できる先生が増えた」と回答した児童 75% (6年生)